

取組み内容

- ①男女ともに従業員の配属は適材適所を重視し、女性の管理職の割合が30%以上かつ、2人以上を達成。
管理職：男性3人・女性2人、女性管理職割合40%
- ②女性が働きやすい環境を作るため、女性管理職が仕事のフォローや相談に対応している。

女性の緻密さや豪胆さを積極的に活用

製紙原料卸売業として、国内外に販売網を持つ同社は九州で発生する古紙の15～20%を取り扱う会社です。社内は豪腕従業員の勢ぞろいかと思いきや、「会社を支えるのは、女性の緻密さ」と社長の寺松哲雄さんは言います。その言葉を裏付けるように、会社の重要ポストにいるのは、現在、2人の女性です。

「何か特別なきっかけがあって、今の体制になったわけではありません。長年、事務職の女性たちと仕事をしているうちに女性の持つ緻密さや、柔らかく、しかし、厳しいことでもいえる豪胆さに気づいたので。管理する能力に男女差はないですね」と寺松さん。「従業員には、どんな仕事でも楽しさを持ってやってほしいと思っています。そして、女性は楽しさを見つけるのがうまいので、まったく頼もしいですよ」。

こうして同社では自然に女性が大切な仕事を任せられるようになり、会社を引っ張っていく存在となりました。今では本社の執行役員と鹿児島地区を統括する鹿児島営業所長の2人の女性が、本社やグループ5社の取引、財務を取り仕切っています。

このように同社で重要視されている女性従業員ですが、女性には産休や育児休業など気づかひも必要です。「大切な仕事を任せている女性に長期で休まれると、正直痛いですよ。でも、必要な人材ですから、そこは辛抱です。辛抱してでも手放したくない人材ばかりなんです」。寺松さんの言葉は、本当に女性が頼りにされている証拠です。

現在は管理職の男女比が6:4ですが、女性たちが頑張ってくれば、いずれは業績が拡大し、海外で活躍する日はそう遠くないのかもしれない。



株式会社 寺松商店
代表取締役 寺松哲雄さん。



女性取締役を含む従業員の皆さん。確かに元気な女性たちが目につきます。